

香川県地震・津波被害想定検討委員会（第3回）

議事録

日 時：令和6年12月20日(金) 10:00～12:00

場 所：香川県庁本館12階 大会議室

出席者：金田委員長、長谷川委員、野々村委員、馬場委員、今井委員、高橋委員、
藤原委員(Web)、白木顧問、事務局（石川総局長外14名）

1. 開会

石川総局長挨拶、金田委員長挨拶

2. 会議の公開・非公開の決定

金田委員長

本日の議事内容について、特段非公開とすべき理由はないが公開としてよろしいか。

各委員

異議なし

3. 議事

(1) 国における見直し（南海トラフ地震防災対策推進基本計画）の検討状況

委員

臨時情報発表時の県の対応について教えてほしい。

事務局

行動指針に記載の通り対応した。住民に対して、防災に対する取組の確認等を各種媒体を使い呼びかけた。

委員

結果的に良い訓練となった。今回発生したのはお盆期間中であり、旅行関係で対応に違いがあった。対応状況を細かく分析できれば、次に繋がると考える。

委員

学校はお盆期間中であったため学生はいなかったが、平常時であれば当然学生がいるため対応が違う。イメージをきちんと持ち対応を検討する必要があると考える。

また次発生した際、県民にどのようにうまく伝えるかが重要である。

委員

仮設住宅が大雨で被災したが、内閣府の方で何か議論されているのか。

事務局

仮設住宅の配置方法を検討することが加えられている。

委員

地震発生後～復旧までに、被災地で大きな自然災害が発生してきている。そのため災害の連鎖については考える必要があると思う。

委員

避難所の設営で、リスク評価の中で考慮できるような被害想定となれば良いと思う。

(2) 第2回検討委員会における委員からの意見等に対する考え方

委員

堤防の整備効果として、粘り強い構造については考慮しないということか。

事務局

手引に基づいた設定としたい。

委員

最終的な公表資料としては、手引に従ったものとなっても良いが、対策の効果は示す事ができればいいと考える。

委員

手引があることにより、こういった対策効果を反映しにくくなっている。我々の方で手引を書き換える努力も一方で必要だと思う。

委員

国の考え方と大きく違う方向の検討は難しい。国の様子を見ながら検討を進める必要がある。

委員

液状化の検討時には、地震動の継続時間が非常に長い南海トラフ地震の特徴を考慮できる方法を検討してほしい。

事務局

先行研究を参考に検討する。

(3) 主な被害想定項目の推計手法について

委員

基礎データについて結果の妥当性を確認できないので、整理できればその情報を出してほしい。

事務局

整理でき次第、資料にまとめ報告する。

委員

分かりやすい内容とするため、定性的な数字に対し、この地域ではどのような状況になるといったような想像できるものがあれば良いと思う。

事務局

主要な項目については網羅し、シナリオ等で定性的な表現もしていきたいと思う。

委員

減災効果ではこれを実施するとこれだけ効果があるというものが出てくるイメージで良
いか。

事務局

そのイメージである。

委員

盆、正月、GW でそれぞれ季節・時間帯が異なるが、どのように整理する予定なのか教え
てほしい。

事務局

どのあたりが最も影響が大きくなるか、人口分布をもとに決定していきたいと考えてい
る。

委員

避難の観点で様相が異なるため、最も厳しい条件だけではなく、2 番目、3 番目について
も示されれば良いと思う。

事務局

避難に関してどのような対策ができるかも踏まえ、検討したいと思う。

委員

盆正月の平均的なものではなく、花火大会などといったように、通常時との違いでメリハ
リをつけることはできないか。

事務局

実施方法について検討する。

委員

M9.0 クラスの地震が起きた際に、地盤沈下や長期湛水のようなものの影響は想定項目に
含まれるか。

事務局

加えられる内容については加える。

委員

災害シナリオは別で検討するということで良いか。

事務局

災害シナリオは、大きいカテゴリごとに整理する。

委員

道路の施設被害は緊急輸送路だけでなく、一般道まで算出するようになるのか。

事務局

道路 GIS があれば算出することは可能である。

委員

生活に密着した道路の被害は出てくるのか。

事務局

あくまで箇所数となるため、出し方については検討する。

委員

交通施設被害で、航路被害まで算出するのか。

事務局

交通施設の港湾については、港湾施設の耐震化状況を反映した計算を実施する予定であり、航路被害は定性的な表現を予定している。

委員

この項目は島嶼部にとって大きく影響する項目であると考えます。

事務局

条件設定については、後日相談させていただきたい。

委員

観光被害は前回「実施」となっているが、「未実施」ではないか。

事務局

そのとおりである。

委員

島嶼部、平野部、山地部等の地形により被災の様相が異なるのではないかと思います。

事務局

地域の分け方について、後日相談させていただきたい。

委員

エリア別に様相が分かれば、県民も理解しやすいかと思いコメントした。

委員

危険物コンビナートはどのような被害を出す予定か。

事務局

危険物施設に対し、被害率を乗じて計算する。火災は流出や破損等を推計する手法があるため、その方法に従って計算する予定である。

委員

香川県の場合、津波火災よりこちらの危険物火災の方が重要になるのではないかと思います。

委員

アーケード街が被災することにより、消防の到達が遅れるなど、そういったことは考慮されるのか。

事務局

今のところ想定はしていない。初期消火で考慮できるか検討する。

委員

津波避難意識調査は、香川県全域で実施したものか。それとも津波浸水想定区域内のみを対象に実施したものか教えてほしい。

事務局

世論調査については、県全体で実施している。
クロス分析で沿岸部を絞り込むことも可能かと思う。

委員

耐震化率について5年毎に調査しているのであれば、最新の数字は出ていないのか。

事務局

現在、整理中のため公表されてない。

委員

空き家はどのように対応するか。耐震化は進まないため、分布が気になる。個人情報の関係もあるので、可能であれば対応してもらえたらと思う。

委員

重複処理は、時系列で考えると液状化被害はもう少し後に来ると思うが、どういう想定なのか。

事務局

ご指摘のように様々なパターンが想定されるが、国の手法に沿った順番で計算する予定である。

委員

建物データについては課税台帳を収集する予定なのか。

事務局

課税台帳まで収集し整理している。

委員

被害想定で、道路被害や火災などはリンクした予測となっているのか。

事務局

建物被害で生き埋めになった人が、火災・津波に巻き込まれる等は考慮されるが、道路被害度合いにより避難速度が変わるとかは考慮されない。あくまでこれまでの実績値によるものである。

委員

津波火災は津波被害に含まれるのか。津波浸水域内の県民で垂直避難をすればいいと考えている人もいる。

事務局

津波火災については、出火件数を算出予定としている。シミュレーションでは対応が難しいため、東日本の事例をもとに検討する。

委員

地殻変動により沈降し、さらに堤防が液状化により沈下し、津波が到達する以前に浸水する場合は、どのように計算されるか教えてほしい。

事務局

津波に巻き込まれると判定された人は、巻き込まれた時点の水位に対し、被害率を乗じて被害を算出する方法となっている。

委員

堤防の沈下等により、津波が予定より早く到達し、浸水する箇所もあると思うが、そのエリアは検討するのか。

事務局

指摘いただいた内容も踏まえて検討したい。

顧問

前回の被害想定で、津波が来る前に 30cm 浸水するエリアの分布を作っているので、活用すればいいと思う。

委員

計算結果については、数字だけでなく分布図で示せるものについては示してほしい。また増減率で示せるものもあれば示してほしい。

事務局

検討する。

委員

災害関連死はどのような形で推計するのか。

事務局

現在行われている国の議論を踏まえながら推計したい。

委員

人的被害の要因からライフライン被害、生活支障、その他被害と記載があるが、これは検証されたものか。

事務局

人的被害で算出した内容が影響する項目を記載したものである。

委員

ライフラインの復旧曲線は、どの地震復旧状況を採用するかで復旧度合いは異なる。南海トラフ巨大地震復旧は、かなり遅れることが予想される。

事務局

どのあたりの復旧曲線を使うかも含め、ご意見をいただきながら進めていきたいと思う。

委員

道路や鉄道については、他県側の被害状況も影響すると思うが、その点はどのように考えるか。

事務局

他県の評価をすることは難しい。施設管理者が実施している BCP 等を参考に検討する。

委員

ライフライン被害は復旧日数をある程度出すようになっているが、交通施設の復旧日数は出せないのか。

事務局

道路啓開計画の話もあるので、その辺りを確認するが、被害様相により状況も異なるため、慎重に整理したいと思う。

委員

ライフラインについては不確定要素が多いので、値を1つに絞らず幅で示し、被害をランク分けし、その被害程度のいくつかのランクに応じた被害シナリオを地域でどのように対応するか検討した方がいいと思う。

事務局

示唆いただいた視点の部分を検討する。

委員

空港だけ液状化被害を踏まえた検討をするということだが、港湾や鉄道など液状化しやすいところは他にもある。それらについても液状化を考慮した検討をしてほしい。

事務局

それぞれの施設に関する内容のため、どこまで検討できるか分からないが確認する。

委員

物資支障は、避難所避難者に対するものなのか。地域の支障なのか教えてほしい。

事務局

断水人口等も踏まえて計算するため、地域での支障になると考えている。

委員

航路の被害、インフラの被害がパラメータとして入ってくるのか。

事務局

国の見直しを踏まえて方法を検討する。

4. 閉会